

基山町の公共下水道事業は、本町内に終末処理場を設置していない中、福岡県流域下水道に加盟して展開されています。

平成11年に下水道全体計画を策定し、基本面積554haとして今日まで進められ、団地や中心市街地等は公共下水道が完備されました。今後は市街化調整区内での整備ですが、多額の財政支出を伴い、費用対効果を合わせて全体計画の見直しが検討されています。全体計画の見直しの方向性について質問しました。

問：公共下水道事業、今後の課題は？

答：将来負担軽減を図るように、終末処理場の確保！

問：下水道事業全体計画の中で、現在の進捗状況は？

554ha中、272haが公共下水道で整備をおこない、以下の進捗状況になる。

整備面積率	48.1%
人口普及率	77.4%
合併浄化槽設置世帯数	617世帯
単独浄化槽設置世帯数	76世帯
汲み取り式世帯数	588世帯

答：

問：今後の見直しのポイントは？

答：当初の計画では公共下水道事業で整備する予定の地域で、合併浄化槽

による個別処理区域へと変更を検討する。

問：それが約5年前に見直しをされた案で、65.2haを合併浄化槽に切替える変更と解してよいのか？

答：その通りで、見直しの柱になる。

問：合併浄化槽の個別処理に対する負担増への対応は？

答：町として今後、既存の合併浄化槽設置世帯も含めて負担が平等になるように検討する。

問：合併浄化槽に切替える地域は、1区・2区・4区・6区・7区になるが、再度説明会を開催するの？

答：見直し案が決まれば再度説明会を開催する。また、説明会等の要望があればその都度おこなうし、町長懇談会等でも説明はおこなっていく。

問：今後の全体計画見直しの基本的方向性は？

答：現在、福岡県との協議で汚水処理施設の効率的な集約、広域化を視野に入れ、事業の持続可能かつ効率的運営の観点から、将来負担の軽減につながるよう検討している。

問：今後の課題は？

答：本町の将来負担の軽減が図られるような終末処理場の確保をおこなうことが課題だ。

問：本町独自で、終末処理場建設の可能性は？

答：現在計画の福岡県宝満川上流域下水道事業の見直しをおこなった後に、終末処理場建設費及び維持管理費等の負担軽減を図るために、既存の終末処理場（宝満川浄化センター）関係者と検討をおこなう。

要望：下水道事業は多額の財政支出を伴い、町財政圧迫につながる可能性もある。市街化調整区域内は合併浄化槽による汚水処理の推進と負担の平等化を図ると共に、福岡県や鳥栖市との協議内容を町民・議会に説明してほしい。